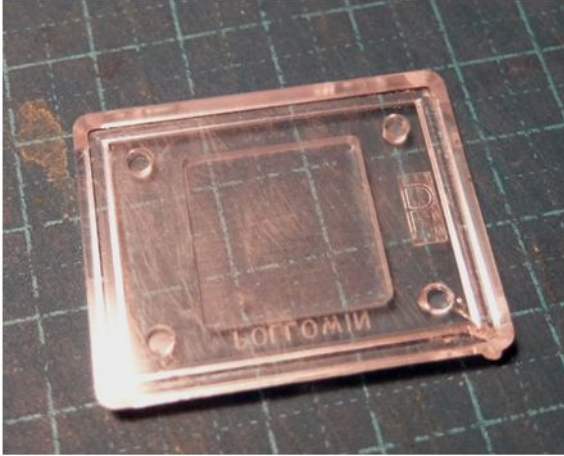


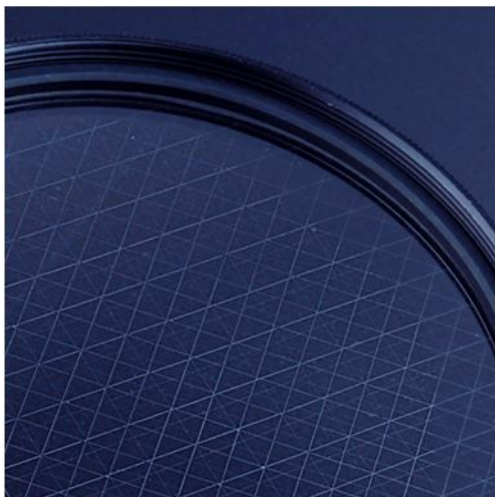
## 「ピカチュウ大発生(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

一体どんな仕組みで、点光源がピカチュウに化けるのだろう? 花火セットのおまけメガネについているのは、何の変哲もないプラスチックのフレームである。「肉眼的所見」では、表面にピカチュウを発生させるような仕組みは見えない。



推理の参考になるのが「クロスフィルター」である。これは、一眼レフカメラ用の特殊効果フィルターの一つで、点光源を+型や\*型に写す効果がある。私も持っているが、その表面には、非常に浅い溝が切っており、それが入射光線を屈折させるらしい。



私はこのクロスフィルターを、時々天体写真撮影に利用している。恒星はまさに点光源なので、スター効果がよく出現するのだ。ただ美しい天体写真になるだけでなく、周囲にできた光条によって、恒星の色がわかりやすくなるのだ。右上写真は、クロスフィルターを装着して撮影したオリオン座である。



ピカチュウのメガネも、およそこんな仕組みにちがいない。フィルター表面に、肉眼では見えないほど小さいピカチュウが彫ってあるのだろう。当然、顕微鏡で観察してみた。確かに表面に規則的なパターン凹凸があるのはわかったが、ピカチュウはどこにもいない。不思議だ。しかし、これはお手上げである。

